

* 蔵王協議会

資料3-1

H29.7.24現在

[概要]

設置：平成14年8月8日

事業：(1) 卒後臨床研修体制（卒前教育～専門医研修）の整備等に関すること。

(2) 関連医療施設との連携に関すること。

(3) 地域の医師の適切な配置に関すること。

(4) 医療事故調査制度への対応に関すること。

会員

[会長]
嘉山 孝正

[副会長]
山下 英俊
根本 建二
栗谷 義樹

山形大学医学部教授会

山形大学医学部教室員会

山形大学関連病院会

※87医療機関が加盟

山形県健康福祉部

山形県医師会

山形県歯科医師会

山形県看護協会

山形県薬剤師会

山形県助産師会

運営組織

蔵王協議会総会

関連医療施設部会

- ・地域医療構想
- 医師配置

研修部会

- ・初期研修 ・医療安全
- ・新専門医制度

企画・広報部会

- ・蔵王協議会だより発行

地域医療医師適正配置委員会

「2005(平成17年発足)」

山形大学医学部地域医療医師適正配置委員会規程

(設置)

第1条 山形大学医学部（以下「本学部」という。）に、本学部が地域と連携して行っている医師の地域医療への適正な配置を図るため、山形大学医学部地域医療医師適正配置委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(組織)

第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学部長
- (2) 基礎医学系の教授 1人
- (3) 臨床医学系の教授 4人
- (4) 医学系研究科生命環境医科学専攻の教授 1人
- (5) 学部長が指名する者 若干人

2 前項第2号から第4号までの委員は、学部長が指名する。

(任期)

第3条 前条第1項第2号から第5号までの委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第4条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 地域医療機関（大学を除く。以下同じ。）との人事交流の在り方に関すること。
- (2) 地域医療機関からの医師の人事についての要望への対応に関すること。
- (3) 医師の地域医療機関への転出入に係る審査に関すること。
- (4) その他地域医療における医師の適正配置に関すること。

内「地
配置委員
ことを注
らかに
への金
て、診療
ていた医
ムを改め
を確保す

山形大医学部は九日ま
でに、医師派遣の適正化
を図るため十月にも学部

委員会には学部長を含め
十人程度の教授で構成す
る。医学部への転入や也

審査し、教授会に報告す
る。医師員や研修医の作第

事を明確に行い、大学へ
の不信感を払しょくした
ハレ話している。

山形大医学部

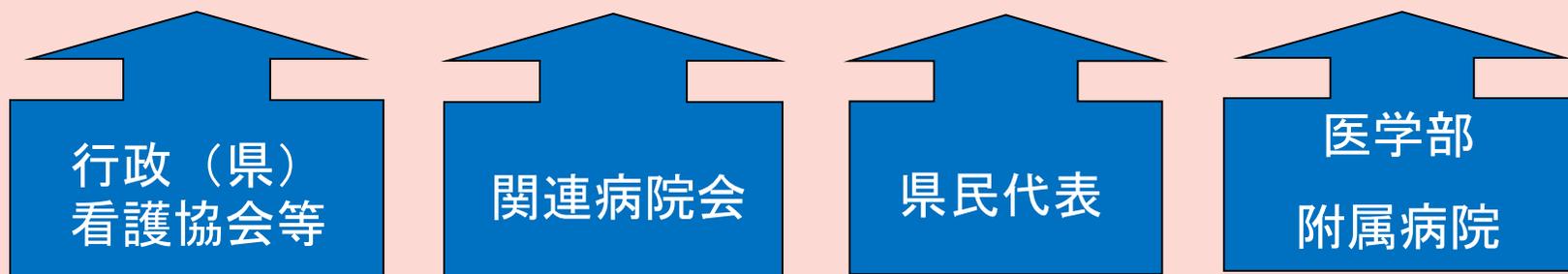
学部長ら
教授10人
異動の個別内容審査

「医師適正配置委」設置へ

地域医療医師適正配置委員会

平成17年7月20日発足

地域医療適正配置委員会



医師の適正配置

- 住民(自治体)の要求 \neq 医師不足
- 公正な第三者評価機構が必要。

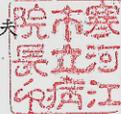
寒病第18号
平成28年5月10日

山形大学蔵王協議会
会長 嘉山 孝正 殿
副会長 山下 英俊 殿

寒河江市病院事業管理者
久保田 洋 子



寒河江市立病院院長 後藤 康 夫



医師の派遣について(お願い)

新緑の候 貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日ごろより寒河江市立病院の運営につきまして、多大なご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当院は寒河江西村山地域の中核医療機関として、近隣の高次医療機関や診療所・介護福祉施設等と連携を進めながら、超高齢社会に対応した持続可能な地域密着型病院を目指しながら、地域住民へ安心な医療の提供に努めるよう職員一丸となって日々まい進しているところであります。

しかしながら、全国的な医師不足と都市部への偏在もあり、西村山地域での病院勤務医師の減少は顕著であり、当院においても地域医療のニーズに応えるべく急性期から慢性期までの医療供給に努めておりますが、常勤医師不足は慢性化しております。

さらに、先月末付けで常勤神経内科医1名に急な退職願が提出され、入院患者のフォローアップや外来診療を機能維持するため、残された常勤内科医には多大な影響を及ぼすことが予想されております。このまま内科医の不足が続けば、入院外来の診療や夜間休日の救急対応等、厳しい診療体制の長期化が余儀なくされることにより、地域医療の堅持と救急医療の確保が困難な事態に陥ってまいります。

つきましては、当院の危機的状況を何卒ご理解いただき、先ずは取り急ぎ、神経内科医の派遣外来診療について、特段のご配慮を賜りますよう切にお願い申し上げます。さらに、早急に、日当直が可能な常勤内科医1名以上の御派遣をいただきたく、切にお願い申し上げます。

平成28年7月12日

山形大学地域医療医師適正配置委員会委員

殿

山形大学地域医療医師適正配置委員会委員長
山形大学医学部長
山下 英俊

持ち回り山形大学地域医療医師適正配置委員会の開催について(通知)

標記のことについて、本会議を開催して審議・決定すべきところですが、下記事項について緊急に決定しなければならないため、持ち回りによりお諮りいたします。

本件につきましてご意見がございましたら、7月15日(金)までに総務課庶務担当にご連絡をお願いいたします。

なお、特にご意見等がない場合には、ご承認いただいたものとして取り扱わせていただきます。

記

協議事項： 寒河江市立病院からの医師派遣要望への対応について

内 容： 寒河江市病院事業管理者及び寒河江市立病院長から、平成28年5月10日付けで資料1のとおり医師派遣要望書の提出がございました。

本件について、寒河江市側の内科の診療状況等を鑑み、資料2のとおり回答してよろしいかお諮りします。

【担当】

山形大学医学部総務課庶務担当 川田
TEL : 023-628-5014
FAX : 023-628-5019
e-mail : isosyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

適正配置委員会委員

役職	氏名
医学部長	山下 英俊
病院長	根本 建二
内科学第三講座教授	加藤 丈夫
小児科学講座教授	三井 哲夫
外科学第二講座教授	貞弘 光章
産科婦人科学講座教授	永瀬 智
医療政策学講座教授	村上 正泰
高次脳機能障害学講座	鈴木 匡子
薬理学講座	石井 邦明
基礎看護学講座教授	櫻田 香
山形県病院事業管理者	新澤 陽英
山形県立中央病院長	後藤 敏和
内科学第一講座准教授	今田 恒夫
山形県健康福祉部医療	阿彦 忠之
日本海総合病院長	栗谷 義樹
県民代表	相馬 健一
山形県看護協会会長	井上 栄子

○寒河江市立病院の内科診療状況

1. 専門分野別医師数（常勤）

	循環器	消化器	内分泌代謝	神経内科	計
H 2 4	1	2	1	1	5
H 2 5	1	2	1	1	5
H 2 6	1	2	1	1	5
H 2 7	1	2	1	1	5

2. 内科医（常勤）1人当たり患者数

	医師数	入 院		外 来	
		患者数	1人当患者数	患者数	1人当患者数
H 2 4	5	8,100	1,620.0	18,991	3,798.2
H 2 5	5	12,834	2,566.8	18,483	3,696.6
H 2 6	5	14,847	2,969.4	18,252	3,650.4
H 2 7	5	14,070	2,814.0	18,399	3,679.8
H 2 7-H 2 4		5,970	1,194	▲592	▲118

※平成25年1月より全125床の内、31床を療養病床へ転換

寒河江市病院事業管理者
久保田 洋子 殿
寒河江市立病院長
後藤 康夫 殿

山形大学地域医療医師適正配置委員会委員長
山形大学医学部長

山下 英俊

山形大学地域医療医師適正配置委員会の結果について（通知）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から本院の運営につきましては、特段のご理解とご配慮を賜り厚く御礼を申し
さて、平成28年5月10日付け寒病第18号で依頼のあった医師派遣に係る要望
成28年7月〇〇日に持ち回りにて本委員会を開催し審議をした結果、下記のとおり
で通知します。

記

1. 依頼内容

- (1) 神経内科医の派遣外来診療
- (2) 日当直が可能な常勤内科医の派遣

2. 審議結果

寒河江西村山地域の中核医療機関としての寒河江市立病院の役割を鑑み、上記
で、以下のとおり対応する。

- (1) 神経内科医の派遣外来診療
山形大学医学部附属病院から神経内科医の派遣外来診療を支援する。
- (2) 日当直が可能な常勤内科医の派遣
山形大学医学部附属病院から常任内科医の派遣について検討する。その際に日当直業
務についての支援を山形大学医学部附属病院から支援を検討する。

2. 審議結果

寒河江西村山地域の中核医療機関としての寒河江市立病院の役割を鑑み、上記医師派遣につい
て、以下のとおり対応する。

(1) 神経内科医の派遣外来診療

山形大学医学部附属病院から神経内科医の派遣外来診療を支援する。

(2) 日当直が可能な常勤内科医の派遣

山形大学医学部附属病院から常任内科医の派遣について検討する。その際に日当直業
務についての支援を山形大学医学部附属病院から支援を検討する。

【担当】

山形大学医学部総務課庶務担当
電話：023-628-5014

別紙様式

学部長	病院長	看護	総務課長	総務課長	広報課長	人事係長
委員会承認	年 月 日					
学部長承認				転入・転出先 機関の長		

転出入医師異動理由書

年 月 日

医 学 部 長 殿

今回 病院で勤務している 氏を
病院での勤務に異動させたいので、下記の理由で申請いた
します。

記

理由（*該当する理由に○印を付けること。）

- 1 教育能力に著しく優れ、学生や研修医の教育に多大な貢献をされると考えられる。
- 2 研究をより容易に行うことができると考えられる。
- 3 より高度な先進的集学的医療を学ぶことができ、又はそれを必要としていると考えられる。
- 4 1から3までの理由で現在勤務している病院において減員となった場合でも、その後の病院での臨床・教育・研究が長期的視点から山形県内の医療に大きく貢献すると考えられる。
- 5 医師本人が身体的精神的理由のため、勤務継続が困難である。
- 6 その他やむを得ない理由がある。

[理由:]

注：医師の異動に際しては、次に掲げる条件を満たしていること。

- 1 医師本人が希望又は了承していること。
- 2 医局全体の賛同が得られていること。
- 3 診療科長が了承していること。

診療科名	科
医師（本人）	印
医局長	印
診療科長	印

*「エビデンス」に基づいた医師適正配置



個々の病院長からの主観的な要望ではなく、地域ごとの患者数等を踏まえて、医療ニーズや他の病院における医師配置とのバランスを考慮し、限られた医師配置の「全体最適」を図る

山形大学蔵王協議会において、県内の医療機関別の診療機能や経営状況、患者の受療動向、医師の勤務実態などについて各種調査研究を継続的に実施し、医療提供体制の全県域的な現状把握（調査分析は医療政策学講座担当）



調査結果は、大学においては蔵王協議会や医師適正配置委員会などにおける議論に、山形県においてはさまざまな審議会などでの県内医療提供体制の検討に活用され、県内の医療資源の適正配置に貢献

* 今後の人口動態と
診療情報分析から考える
山形県の医療提供体制

2014年12月8日

山形大学大学院医学系研究科

医療政策学講座教授

村上 正泰

県内医療機関を取り巻く状況

人口の大幅減少

高齢患者の増加

患者数の減少

平均在院日数長期化

慢性疾患への日常的な対応

急性期の集約化
後方病院機能の確保

地域包括ケアの構築

医療制度改革

病院機能の見直しを図らなければ
住民ニーズへの対応も持続的な経営も困難

* 村山二次医療圏の入院／外来別推計患者数

(日医総研「都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)」)

	2011年患者数		2025年増減率	
	入院	外来	入院	外来
総数(人)	6,792	34,004	+14%	-2%
1 感染症	113	772	+14%	-8%
2 新生物	740	1,045	+7%	+1%
3 血液	34	100	+15%	-5%
4 内分泌	188	1,971	+18%	+1%
5 精神	1,340	987	+1%	-7%
6 神経系	592	732	+15%	+6%
7 眼	59	1,413	+8%	+2%
8 耳	13	532	0%	-6%
9 循環器	1,346	4,758	+25%	+10%
10 呼吸器	484	3,144	+25%	-15%

	2011年患者数		2025年増減率	
	入院	外来	入院	外来
11 消化器	325	5,898	+12%	-7%
12 皮膚	81	1,144	+18%	-8%
13 筋骨格	324	4,912	+15%	+6%
14 腎尿路	245	1,238	+17%	-2%
15 妊娠	70	55	-24%	-23%
16 周産期	27	11	-26%	-26%
17 奇形	24	50	-20%	-17%
18 その他	98	388	+21%	-3%
19 損傷	653	1,442	+19%	-7%
20 保健	38	3,412	+0%	-7%

* 最上二次医療圏の医療機関種別総患者数推計

(平成17年山形県患者調査より推計)

医療機関	2012年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
基幹病院	12,435	12,300	11,973	11,491	10,753	9,956	9,132
非基幹病院	8,502	8,597	8,548	8,367	8,172	7,875	7,392
診療所	21,550	21,271	20,798	20,286	19,418	18,240	16,775
合計	42,488	42,167	41,319	40,145	38,343	36,072	33,300

医療機関	2012年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
基幹病院	0.0%	-1.1%	-3.7%	-7.6%	-13.5%	-19.9%	-26.6%
非基幹病院	0.0%	1.1%	0.5%	-1.6%	-3.9%	-7.4%	-13.1%
診療所	0.0%	-1.3%	-3.5%	-5.9%	-9.9%	-15.4%	-22.2%
合計	0.0%	-0.8%	-2.8%	-5.5%	-9.8%	-15.1%	-21.6%

(対2012年

※「総患者数」は、ある1日の入院患者数と外来患者数(その日受診していない通院患者を含む)を足し合わせた値である。

* 最上二次医療圏の入院／外来別推計患者数

(日医総研「都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)」)

	2011年患者数		2025年増減率	
	入院	外来	入院	外来
総数(人)	1,120	5,387	+1%	-12%
1 感染症	19	118	+1%	-18%
2 新生物	122	170	-5%	-10%
3 血液	6	15	+2%	-16%
4 内分泌	31	322	+5%	-9%
5 精神	216	150	-9%	-17%
6 神経系	98	119	+2%	-6%
7 眼	10	228	-5%	-9%
8 耳	2	83	-11%	-15%
9 循環器	227	796	+11%	-2%
10 呼吸器	81	462	+12%	-24%

	2011年患者数		2025年増減率	
	入院	外来	入院	外来
11 消化器	54	917	-1%	-17%
12 皮膚	14	173	+5%	-17%
13 筋骨格	54	815	+2%	-7%
14 腎尿路	41	197	+4%	-12%
15 妊娠	9	7	-27%	-27%
16 周産期	4	1	-33%	-33%
17 奇形	3	7	-30%	-26%
18 その他	16	61	+7%	-13%
19 損傷	109	221	+6%	-17%
20 保健	6	526	-7%	-16%

蔵王協議会研修部会・山形県専門医制度対応委員会規程の制定について (山形県専門医地域医療協議会)

(趣旨)

第1条 蔵王協議会部会規程第5条第2項の規定に基づき、山形県における専門医制度への対応について協議するため、研修部会の下に山形県専門医制度対応委員会（以下、「委員会」という。）置く。

(組織)

第2条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 山形県健康福祉部の代表 1名
- (2) 山形県自治体病院協議会の代表 1名
- (3) 山形県医師会の代表 1名
- (4) 山形大学医学部の代表 4名（外科系、内科系、教育、医療政策から各1名）
- (5) 山形大学関連病院会の代表 3名

(任期)

第3条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項に掲げる委員は、再任することができる。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、山形大学医学部総合医学教育センター長を充てる。

2 委員長は、委員からの要請がある場合には、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員長あるいは委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を得て、意見を求めることができる。

(その他)

第6条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関する必要な事項は、蔵王協議会の議を経て、蔵王協議会会長が別に定めることができる。

附 則

1 この規程は、平成29年7月19日から施行する。

2 山形大学蔵王協議会研修部会・専門研修小委員会は廃止する。

蔵王協議会研修部会・山形県専門医制度対応委員会名簿

山形県健康福祉部の代表

山形県健康福祉部医療統括監 阿 彦 忠 之

山形県自治体病院協議会の代表

山形市立済生館病院事業管理者 平 川 秀 紀

山形県医師会の代表

山形県医師会副会長 中 目 千 之

山形大学関連病院会の代表

山形大学関連病院会会長
(山形県・酒田市病院機構理事長) 栗 谷 義 樹

山形県立中央病院長 細 矢 貴 亮

小国町立病院長 阿 部 吉 弘

山形大学医学部の代表

山形大学医学部外科学第二講座教授 貞 弘 光 章

山形大学医学部内科学第二講座教授 上 野 義 之

○ 山形大学医学部総合医学教育センター長 佐 藤 慎 哉

山形大学医学部医療政策学講座教授 村 上 正 泰

任期：平成29年7月19日～平成31年3月31日

山形県専門医制度対応委員会規程第5条に基づき○印の委員が委員長

皆様の善意が地域医療を救う！



医師リフレッシュ研修後の勤務状況

年度	年齢	前職	施設	勤務地	研修後職種	施設	勤務地
19	38	外科医	大学病院	岡山県	内科医	公立病院	山形県
19	35	内科医	大学病院	石川県	内科医	公立病院	山形県
19	58	精神科医	公立病院	山形県	内科医	診療所	山形県
19	54	精神科医	公立病院	岩手県	精神科医	公立病院	岩手県
20	58	脳神経外科医	公立病院	高知県	内科医、 脳神経外科医	診療所	高知県
21	58	内科医	診療所	滋賀県	内科医	公立病院	山形県
21	39	救急医	公立病院	山形県	救急医	公立病院	山形県
21	72	内科医	私立病院	埼玉県	内科医	私立病院	埼玉県
21～22	59	形成外科	公立病院	群馬県	内科医	診療所	千葉県
23	50	外科医	公立病院	兵庫県	内科、外科医	診療所	兵庫県
23	49	社会医学	大学医学部	宮城県	内科医 (精神科医)	私立病院	山形県
25	46	耳鼻科	診療所	青森県	耳鼻科	診療所	青森県
26～27	40	法医学	公的機関等	東京都	法医学	公的機関	東京都
27	66	産業医	一般企業	東京都	内科	医療機関	東京都
27	44	産婦人科医	診療所	宮城県	産婦人科医 (研修中)	診療所	宮城県
28	73	基礎医学	医療専門学校	千葉県	内科医	診療所	東京都
28	62	内科医	診療所	東京都	内科医、眼科医 (研修中)	診療所	東京都

(17名)

【研修
前】

2名県内勤務者
15名県外勤務者



【研修
後】

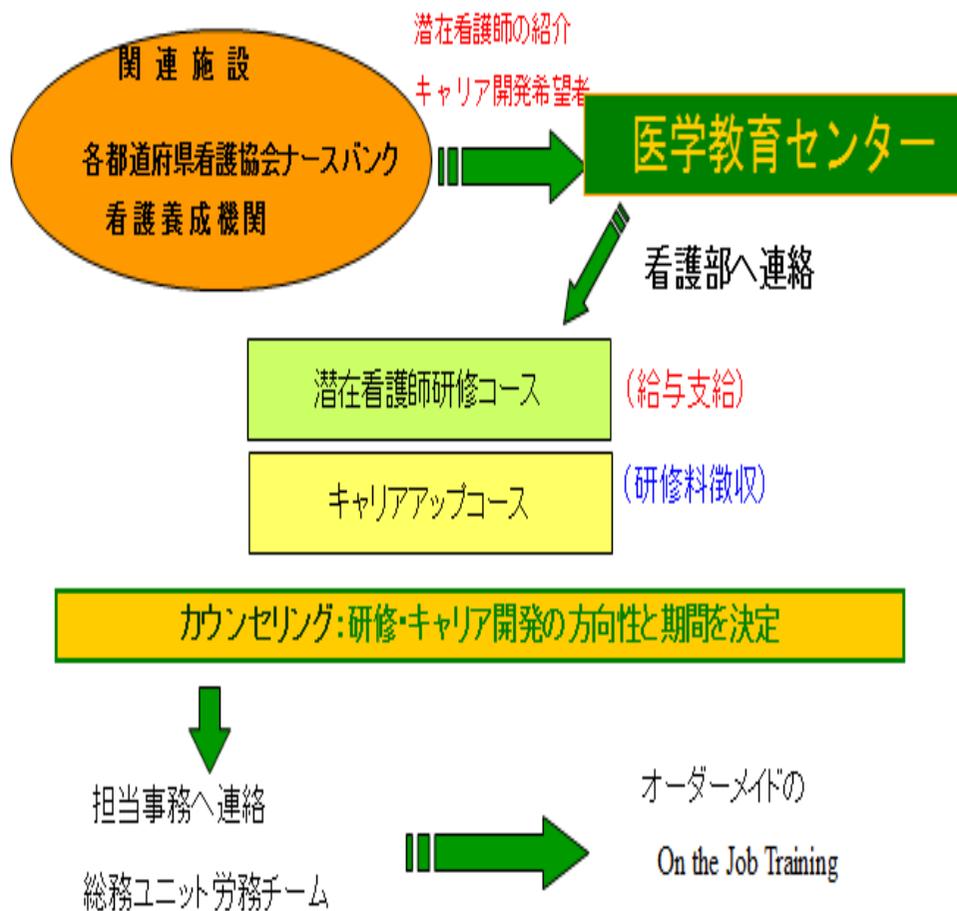
6名県内勤務者
11名県外勤務者

(2016. 10末までの集計)

赤字は、研修後、勤務地が県外から県内に変更したもの

リフレッシュ研修(潜在看護師コース)の概要

山形大学医学部リフレッシュ研修看護師



潜在看護師研修コース

もう一度復職を考えている有資格者

不安な看護技術を明確にしてトレーニング項目と日程をオーダーメイドで設定
【給与支給有り就職(実践)訓練】

- 基礎看護技術
- 注射・採血・輸血
- 電子カルテ操作
- 吸引
- 感染対策
- 医療安全
- 個人情報保護
- インフォームドコンセント

希望病棟で実践

カウンセリング獲得度を確認

- 心肺蘇生法
 - 褥瘡予防
 - 救急看護
 - 血糖測定
 - 人工呼吸器
 - ME機器
 - 緩和ケア
 - NST
 - がん化学療法
- 看護部研修への参加
- 講義講演

リフレッシュ研修(潜在看護師コース) 研修受入れ後の復職状況

山形大学に復職	36名
山形大学以外に復職	16名
研修中	3名
復職なし	9名
合計	64名

(平成22年12月～平成28年10月現在の実績)



山形県医療安全支援協議会 組織図

協議会

- 顧問：徳永 正靱（山形県医師会会長）
- 会長：嘉山 孝正（山形大学蔵王協議会会長）
- 副会長：栗谷 義樹（山形大学関連病院会会長）
副会長：中目 千之（山形県医師会副会長）
- 運営委員：阿彦 忠之（山形県健康福祉部医療統括監）
 永田 秀昭（山形県歯科医師会会長）
 井上 栄子（山形県看護協会会長）
 東海林 徹（山形県薬剤師会会長）
 佐藤 陽子（山形県助産師会会長）
 山下 英俊（山形大学医学部長）
 根本 建二（山形大学医学部附属病院院長）
 佐藤 慎哉（山形大学医学部附属病院副院長）
 細矢 貴亮（山形県立中央病院院長）
 平川 秀紀（山形市立病院済生館館長）
 三科 武（鶴岡市立荘内病院院長）
 八戸 茂美（山形県立新庄病院院長）
 林 雅弘（公立置賜総合病院院長）
 渡邊 孝男（米沢市立病院院長）
 濱崎 允（山形済生病院院長）
 篠田 昭男（篠田総合病院院長）
 仁科 盛之（三友堂病院院長）
 山腰 俊昭（山形大学医学部事務部長）

初動体制対応委員会

（委員長：中目 山形県医師会副会長）

初期報告支援委員会

（委員長：佐藤 山形大学附属病院副院長）

画像・解剖支援委員会

（委員長：細矢 山形県立病院長）

調査委員会設立支援委員会

（委員長：根本 山形大学医学部附属病院長）

調査報告書作成支援委員会

（委員長：嘉山 山形大学医学部参与）